

進路だより

群馬県立しらがね特別支援学校

平成29年11月27日（月）

10/30（月）～11/2（木）の4日間、中学部の就業体験が行われました。
その様子をご紹介します。

◆中学部の校内就業体験について



校内就業体験に参加した生徒のコメント

Aさん「だんだんと自信がついてきて、3日目には大きな声であいさつや報告ができました。

去年よりもできることが多くなって、うれしいです。」

Bくん「さおピンチを作るのをがんばりました。たくさん作れてよかったです。」

校内就業体験では、スーパー竿ピンチを作ったり、Tピンの色分けや袋詰めなどを行ったりしました。今回は、「あいさつや報告の声をしっかり出そう」という目標のもと、4日間頑張りました。作業だけでなく、道具の出し入れや作業室の片付けも、みんなで協力して積極的に行うことができました。

◆中学部の校外就業体験について



校外就業体験に参加した生徒のコメント

Cさん「段ボールの部品を組み立てるのが楽しかったです。

前日も体験した作業だったので、上手くできました。」

Dさん「タオルたたみが上手くできました。特に最終日には、集中してがんばることができました。」

校外就業体験では、3名の生徒が県立リハビリテーションセンターでお世話になりました。段ボールや持ち手の組み立て、洗濯物たたみ、施設内の清掃など、様々な仕事を体験しました。担当の方からは、みんな作業のペースがよく、とても助かったとコメントをいただきました。